

# 今こそ創ろう！次世代へつなぐ都市圏農業

## 仙台農業改良普及センターの挑戦（平成29年度普及指導計画）

【資料2】

H29.9 仙台農業改良普及センター

### ■第2期みやぎ食と農の県民条例基本計画

平成23年度を初年度、平成32年度を目標年度に設定し、「農業を若者があこがれる魅力ある産業に！」変革させるため、I消費者が求める安全・安心な食料の安定供給、IIマーケットインによる競争力と個性のある農業の持続的な発展、III農業・農村の多面的機能の発揮、IV農村の経済的発展と生活環境の整備の四つの基本方針に基づき施策を推進する。

### ■みやぎの農業・農村復興計画

みやぎ食と農の県民条例基本計画の方向性を保ちながら、I災害に強く安心して暮らせる農村づくり、II農業者が主体・すべての県民を含め総力を結集した復興、III効率的な土地利用と営農方式の導入による地域農業の「再構築」、IV次世代を担う競争力のある農業経営体を育成、V環境的な被害からの復興モデルの構築を基本理念に、震災からの早期の復旧・復興を目指し取り組みを進める。

### ■基本的なスタンス

- 仙台地域は、広大な水田を活用した米・麦・大豆等の土地利用型作物を基幹に、都市近郊型の特徴を活かした園芸等の多様な農業を展開。
- 東日本大震災で大きな被害を受けたが、農地・農業用施設等の復旧も進み、本格的に営農活動を再開する生産者も増加。
- 被災農地での大区画ほ場整備事業が本格化し、大規模な地域営農形態の構築が進展してきており、これまでに以上に復興・再生に向けた継続的な支援が必要。
- 黒川地域では、自動車産業をはじめとした企業の進出で、地元食材の需要が増加するなどのビジネスチャンス。
- 「農林水産業・地域の活力創造プラン」が改定されるとともに、更なる農業の競争力強化を実現するための「農業競争力強化プログラム」が決定されるなど、今後の農業経営や農村地域全体に影響を及ぼす大きな転換期。
- 「宮城県震災復興計画」の「再生期4年目」の着実な進展を目指し、震災復興を最重点として、農地中間管理事業を活用した人・農地プランや水田フル活用ビジョンを具現化し、「大都市仙台が位置する地域の強みを生かした新たな都市圏農業の構築」を推進する。

## 地域基本方針（H28～32）

仙台都市圏にある地域の強みを生かしながら、農業の持続的な発展を図り、沿岸地域の震災からの復興、地域の合意形成に基づく経営の大規模化や6次産業化等による経営の高度化などの支援も含めて「魅力ある農業・農村の再興」として最重点課題に位置付けるとともに、「先進的技術に取り組む経営体の支援」及び「地域農業の振興に向けた総合的な支援」を課題として掲げ、普及事業を展開する。

### 1 魅力ある農業・農村の再興

- 次代の農業を担う経営体の育成・支援
- 沿岸地域の営農確立支援

### 2 先進的農業に取り組む経営体の支援

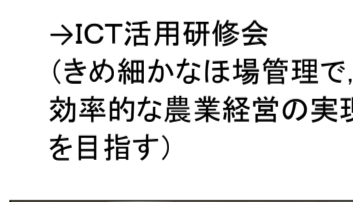
- 先進的技術に取り組む経営体の育成・支援
- 競争力のあるアグリビジネス経営体の育成・支援
- 安全で安心できる農畜産物の生産に取り組む経営体の支援
- 環境と調和した農業生産に取り組む経営体の支援

### 3 地域農業の振興に向けた総合的な支援

- 地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援
- 地域農業の構造改革に向けた取組に対する支援
- 農村地域の振興に向けた取組に対する支援



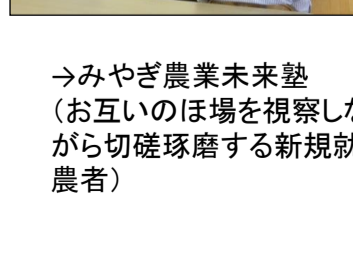
←仙台農業創生塾  
(法人経営における人材育成と定着手法を学ぶ)



→ICT活用研修会  
(きめ細かなほ場管理で、効率的な農業経営の実現を目指す)



←仙台地域ねぎブランド化研修会  
(「ねぎ」の生産拡大に向けて先進事例を学ぶ)



→みやぎ農業未来塾  
(お互いのほ場を視察しながら切磋琢磨する新規就農者)

## 農業現場の課題

### 大規模経営体の経営安定

- 農地中間管理事業活用による大規模化した土地利用型法人の経営安定化
- 震災後設立された大規模な土地利用型及び施設園芸法人等の技術の高度化と経営の安定化
- 復旧地区のほ場整備による大区画ほ場に対応した栽培技術の導入と畑地を中心とした新たな園芸品目等の取り組み拡大

### 生産技術の高度化

- 農地の高度利用と省力化技術やICT等先端技術の導入による低コスト化
- 水田農業経営の安定化（法人化、大規模化）
- 設立された法人等組織の持続的発展に向けた組織運営
- 収益性の高い畜産経営の実現
- 消費者から選ばれるための安全・安心の確保

### 地域農業の振興

- 新たな担い手の確保・定着及び地域の核となる農業者の育成
- 地域振興作物の生産対策と地域資源を活かした特産品開発
- 都市と農村との交流等による農業・農村の活性化
- 鳥獣被害対策

## 普及センターH29年度基本方針

### 1 被災地域の魅力ある農業・農村への再興

大区画ほ場整備事業が本格化する被災地域において、合理的な土地利用の推進や農地集積を誘導し、100ha規模の大規模営農モデルの構築を目指す。

- 新たな担い手組織の育成や法人化による農業構造の再編と経営の安定化支援
- 土地利用型農業や施設園芸を柱とした大規模営農体系の確立支援

### 2 水田フル活用による水田農業の確立

水田農業においては経営面積が拡大する組織経営体を中心に、人・農地プランの具現化や農地中間管理事業等による農地集積を促進するとともに、土地利用型作物の体系化技術の構築や露地野菜等の土地利用型園芸の導入を図る。

- 人・農地プランの策定及び行動計画の実践支援
- 水田農業の大規模化・団地化等に対応できる経営体の育成支援
- 土地利用型作物のICT等活用による栽培管理の最適化・技術の体系化
- 水稲直播栽培等省力化技術の導入による生産力の向上及び生産コストの低減支援
- 水田のフル活用による大規模露地園芸導入支援

### 3 特色ある都市近郊型園芸の振興

大都市仙台にある立地状況を生かし、収益性や競争力を高める園芸作物の生産技術改革への取り組みを促進し、新たな産地育成を図る。

- ねぎの栽培管理の最適化と体系化技術の確立による野菜指定産地の育成
- 気候や販売形態に合った品種の導入等による生産拡大と新品目導入による特産果樹産地の育成
- 顧客ニーズの把握に基づいた園芸品目の栽培に取り組む経営体への技術導入支援

### 4 地域農業の担い手の確保・育成

認定農業者、集落営農組織等担い手育成については、中山間地域も含めた法人化や経営の多角化等による経営発展の促進するとともに、新規就農者の支援については関係機関との連携体制を構築し、資質の向上と定着を図る。

- 集落営農組織等の法人化育成支援
- 経営分析・診断に基づく生産・経営の課題解決支援
- 農業研修教育の実施による次代を担う経営者の養成支援

## H29年度普及指導計画

### プロジェクト課題

#### No.1 集落営農100ha法人の鉄人化計画の推進

- 対象：(農)井土生産組合
- 計画期間：H27～29
- 活動事項：園芸栽培技術の向上支援  
販売力の強化に向けた支援  
営農システムの効率化支援
- 目標：法人売上高 1.1億円 → 1.3億円

#### No.2 仙台東部における土地利用型法人の経営体質の強化(新規)

- 対象：(農)ファームセケ浜、(農)グリーンファーム松島、(農)岩切生産組合、(農)せんたいあらはま、(農)六郷南部実践組合
- 計画期間：H29～30
- 活動事項：経営者マインドの育成・組織運営体制の強化支援  
水田営農を核とした複合経営の安定化支援
- 目標：目標達成法人数 0経営体 → 3経営体

#### No.3 中山間地域の農業を担う新設法人の体制整備(新規)

- 対象：(農)あさひな生産組合
- 計画期間：H29
- 活動事項：地域資源を活かした経営計画の作成支援  
直売を想定した新規園芸品目の導入支援
- 目標：新規園芸品目の導入 0品目 → 1品目

#### No.4 曲がりねぎ販売額1億円を目指す指定産地の育成

- 対象：JAあさひな ねぎ部会(88人)
- 計画期間：H27～29
- 活動事項：生育ステージに合わせた栽培技術支援  
指定産地に向けた協議  
土づくり・病害虫対策支援  
品種比較
- 目標：作付予定面積 16ha → 20ha

#### No.5 安定供給が可能なブルーベリー産地及び新たな果樹産地の育成

- 対象：富谷市ブルーベリー生産者、黒川郡ぶどう生産者(11人)
- 活動期間：H28～30
- 活動事項：(ブルーベリー)生産技術向上支援、有望品種導入支援  
(ぶどう・その他果樹)生産技術向上支援
- 目標：対象者の出荷量  
ブルーベリー 738kg → 750kg  
ぶどう 215kg → 310kg

#### No.6 就農計画の早期達成による新規就農者の定着促進

- 対象：認定就農者、認定新規就農者、新規就農者(11人)
- 計画期間：H27～29
- 活動事項：生産技術の向上支援  
資質向上支援  
経営管理能力の向上支援
- 目標：主要品目単収 前年対比110%

## 普及センター活動

- <地域農業班>
- 新規就農者の定着【重点】
  - ・就農希望者、認定新規就農者等
- 地域農業構造改革支援
  - ・各地域農業推進協議会
- 地域農業の担い手の育成・確保
  - ・認定農業者、集落営農組織等
- 青年農業者の資質向上
  - ・仙台地区4Hクラブ、農業大学校学生等
- 農業士会活動支援
  - ・仙台農業士会
- 女性農業者の資質向上
  - ・女性農業者、女性リーダー、生活研究サークル
- 鳥獣被害防止対策の支援
  - ・鳥獣被害発生地区等
- <先進技術第一班>
- 大規模園芸施設への技術支援【重点】
  - ・大規模施設栽培法人
- 加工・業務用野菜の導入支援【重点】
  - ・土地利用型作物の生産組織等
- 醸造用ぶどうの安定生産支援【重点】
  - ・醸造用ぶどう生産法人
- 水稲の作柄安定と省力・低コスト稲作推進
  - ・稲作生産者、直播栽培取組生産者
- 土地利用型作物の生産性向上
  - ・各生産組織、集落営農組織、採種組合等
- 野菜の生産・品質の向上とブランド化支援
  - ・野菜生産者等
- 果樹の安定生産と栽培者の活性化
  - ・果樹農家、各生産部会・組合等
- 安全・安心な農畜産物の供給支援  
(放射性物質検査含む)
  - ・管内の農業者
- 環境に配慮した農業の推進
  - ・管内の農業者
- <先進技術第二班>
- 経営体の育成
  - ・認定農業者、法人化志向農家、農業法人、震災復興関連事業活用農家等
- 花きの良品安定生産による産地育成
  - ・花き生産者
- 生産性の高い畜産経営の推進
  - ・畜産農家等
- 高付加価値生産による起業支援と農村振興
  - ・直売所、農産加工者、起業志向者等